

2017-2020 年度 JAL グループ中期経営計画ローリングプラン 2018 説明会
主な質疑応答（要旨）

■ グランドデザインについて

Q 10年レンジまで伸ばした背景は？

A JAL Vision を達成した時の具体的な会社の姿をグランドデザインとしてお示しました。本中期計画開始から10年後のありたい姿である。

■ 国際線について

Q 来年度の国際線イールドについて、調整等を除くとどういった計画か？

A 国際線の燃油サーチャージ・為替・精算調整の影響を除いた純単価は前年並みから微増の計画。

■ 費用について

Q 燃油費以外の費用が増えると思うが、具体的にはどのような費用が増えるのか？

A 旅客基幹システムの償却費が前年対比で90億円増。その他は、人件費と整備費と収入連動費用。人件費に関しては、人員数の伸び・人件費の伸び、ともにASKの伸びの範囲内にコントロールしていく。整備費に関しては、2020年度にかけては増加するものの、中長期的なエンジン整備費の平準化を図っていく。また、施設集約することによって他の固定費含め、より一層の整備費の削減も図っていく。